

こちらは、英文記事「[Review of policy years, premium rating for the 2015 policy year, and half year status report as at 20 August, 2014](#)」(2014年10月28日付)の和訳です。

## 各保険年度総括、2015 保険年度保険料率算定、2014年8月20日付け半期報告書

メンバー各位

Gard P. & I. (Bermuda) Ltd および Assuranceforeningen Gard - gjensidig (以下「組合」といいます)の2014年第2四半期(2014年8月20日)の財務状況が引き続き強固であることを、お知らせ致します。主要な会計および業績データ<sup>1</sup>と組合理事会による決定の概要について、Gard P. & I. (Bermuda) Ltd の運営会社である Lingard Limited の承認のもと、下記のとおりご報告いたします。

- ・ 2014年8月20日現在の連結危険準備金(Consolidated contingency reserve)は10億4700万米ドル(2014年2月20日は9億4400万米ドル)となり、組合員全体に信頼性と安定性をもたらす結果となった。
- ・ 2011 保険年度はさらなる保険料を徴収せずに終了。
- ・ 2012 保険年度および 2013 保険年度ともに、後払保険料(Deferred calls)または追加保険料(Supplemental calls)の徴収は予定していない。
- ・ 2015 保険年度の P&I 相互保険の前払保険料(Advance calls)は一律で 2.5%増加、FD&D 特約の前払保険料は一律で 10%増加。

以下の各保険年度の説明において、「追加保険料」という用語は、当該年の予想「後払保険料」を超える保険料のみを指します。

### 各保険年度総括

#### 終了した年度

2011 保険年度までの終了した年度は、予定どおりに進捗いたしました。

#### 2011 保険年度の終了

2012年9月初予想の25%を下回る20%の後払保険料の徴収を行いました。当年度は大幅な剰余金が生じることが見込まれるため、さらなる保険料を徴収せずに2011保険年度を終了することを理事会において決定いたしました。

---

<sup>1</sup> 「連結」という用語は、Assuranceforeningen Gard - gjensidig、Gard P. & I. (Bermuda) Ltd およびその子会社の連結会計を意味します。

## 終了していない保険年度

### 2012保険年度

2013年9月当初予想の25%を下回る15%の後払保険料の徴収を行いました。当年度は、この6か月間においてマイナスで推移しております。当年度は不足の発生が見込まれていますが、組合全体の財務状態は強固であることから、当保険年度は、さらなる保険料の徴収は行わずに、2015年10月に終了する予定です。

### 2013保険年度

2014年9月当初予想の25%を下回る15%の後払保険料の徴収を行いました。当年度は不足の発生が見込まれます。しかしながら、組合全体の財務状態は強固であることから、当保険年度は、さらなる保険料の徴収は行わずに、2016年10月に終了する予定です。

### 2014保険年度

2014保険年度の上半期は、2013保険年度と比較して保険金請求金額と件数の両方が増加しました。2014保険年度については、引き続き25%の後払保険料が徴収されることを予算上見込んでいただきますようお願いいたします。

## 精算保険料(Release calls)

精算保険料は、該当する未終了の保険年度における該当船舶に対する予想合計保険料に対する比率として計算されます。理事会は、現時点の見積らばに精算保険料の設定に関する慣行に従い、未終了の保険年度の精算保険料について、以下のとおり議決しました。

2012保険年度:	5%
2013保険年度:	5%
2014保険年度:	20%
2015保険年度:	20%

## 2015保険年度の保険料に関する方針

基本的に、相互保険加入(Mutual premium entries)と定額保険加入(Fixed premium entries)のいずれの場合も、保険料率の水準は各メンバーの保険成績と予想されるクレームによって決まります。しかしながら、2015保険年度については、現保険年度と同様、すべての保険の保険料を一律に引き上げる方法をとらずに、相互保険の保険料率については、正味合算率(Combined ratio net)による保険勘定の目標値をベースとして算定することを決定いたしました。正味合算率は、当該年に予想される保険料収入に対する保険金支払いおよび管理費が占める割合です。

こうしたことから、理事会は、2015保険年度について、定額保険を含めたGard P&Iの予想正味合算率が105%となるよう保険料を調整することを決定いたしました。この目標を達成するにあたり、P&I相互保険の加入者の皆様の前払保険料については一律で2.5%の引き上げ、FD&D特約については一律で10%の保険料引き上げが必要となります。後払保険料については、すべての相互保険一律で前払保険料の25%といたしました。

2015保険年度は、船舶規則付録V第2条に既定されたP&Iリスクの標準免責額以下の免責額については、1000米ドルまたは標準免責額に達するまでのいずれか低い金額を引き上げます。

さらに、2015保険年度の各メンバーの保険料率については、国際P&Iグループの再保険契約コストの変更を織り込み、個別に調整します。2015保険年度の国際P&Iグループと組合の再保険契約の詳細については、後日発表します。

## 2014年8月20日現在の半期報告書

### 総トン数 (P&I相互保険)

2014年8月20日現在、船主による加入総トン数は1億9700万GTです。このうち、P&I相互保険の総トン数は1億7900万GT、定額保険料に基づき、国際P&Iグループの仕組み外の再保険に付された移動式海洋掘削装置(Mobile offshore unit [MOU])の総トン数は1800万GTとなっております。2014年2月20日時点の比較数値は、それぞれ1億7000万GTおよび1700万GTでした。

### 連結会計の主要な数値

総資産は、前年度末の27億2200万米ドルから32億1600万米ドルに増加しました。連結ベースの偶発危険準備金(General contingency reserve)は、前年度末の9億4400万米ドルから10億4700万米ドルに増加しました。

連結ベースでは、2014年度上半期は全体で税引後1億2900万米ドルの黒字となりました。全事業分野にわたる保険勘定による剰余金は9000万米ドルとなり、これにより正味合算率は78%となりました。会社勘定による剰余金は、4500万米ドルとなりました。

\*\*\*\*\*

上記に関するご質問は、ガードジャパン株式会社(Email: [gardjapan@gard.no](mailto:gardjapan@gard.no))までお問い合わせください。

敬具  
GARD AS



Rolf Thore Roppestad  
CEO (最高経営責任者)

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、クラブとの紛争が生じた場合、常に原文である英文の解釈に依拠することとなります。ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください